

2026 年度版 園芸部活動方針

帯広西病院 園芸部

【1. 活動目的】

園芸活動を通して、患者様の身体機能・精神機能・認知機能への刺激を図ることを目的とする。

植物の育成や創作活動を通して、感覚刺激、活動意欲向上、役割意識の獲得、患者様同士の交流機会の増加につなげていく。

また今年度は、車椅子利用患者様でも参加しやすい環境整備を目的として、レイズドベッドの導入を行う。

【2. 活動内容】

- ①レイズドベッドの作成 ②朝顔のグリーンカーテン ③押し花 ④香りの良い花 ⑤イベントプランター
⑥造花 ⑦日よけの設置 ⑧簡単なガーデンオーナメント作成 ⑨生育容易な野菜の生育

①レイズドベッドの作成

◇内容

木材を用いて車椅子対応のレイズドベッド（ベジトラグ様構造）を作成する。

レイズドベッドとは、周囲の地面より土を高く盛り上げ、木材等で囲いを作った花壇・菜園である。

通常の地面での園芸活動と比較し、腰を大きく屈める必要が少なく、車椅子利用患者様でも土や植物に触れやすい環境を整備できる。

◇目的

車椅子利用患者様の参加促進 作業負担軽減 園芸活動機会の拡大

◇実施方法

木材・ビス・防腐塗料等を使用しDIYで制作予定。

②朝顔のグリーンカーテン

◇内容

2階リハ室東側窓に竹と縄で支柱を作成し、朝顔を育成する。

◇目的

季節感の提供 環境整備 夏季の日差し軽減

③押し花制作

◇内容

育成した花を用いて押し花を作成する。

作成した押し花はレジンやラミネート加工を行い、病室の目印や装飾として活用を検討する。

◇目的

手指活動 創作活動 集団交流 病棟環境整備

④香りの良い花の育成

◇内容

ラベンダー等の香りのある植物を育成する。

◇目的

嗅覚刺激 覚醒促進 リラクゼーション

覚醒低下が見られる患者様への感覚刺激として活用を検討する。

⑤造花を用いた装飾

◇内容

院内で土の使用が難しい場面では、造花を使用した季節装飾を実施する。

◇目的

季節感の提供 見当識への刺激 病棟環境整備
冬季やイベント時の飾り付けとして活用予定。

⑥イベントプランター

◇内容

小集団活動として、季節ごとの装飾プランター作成を行う。
造花や小物で季節感を出したプランターを作成
完成作品は病棟内へ展示し、季節感や見当識への刺激につなげる。

◇目的

集団活動 他患者様との交流 創作活動

⑦日よけの設置

◇内容

夏季活動時の日差し対策として、サンシェードやよしず、作業用テント等の日よけ設置を行う。

◇目的

熱中症予防 夏季活動継続 活動環境整備 7~8月の活動参加率低下予防を目的とする。

⑧ガーデンオーナメント作成

◇内容

粘土素材（ひなたぼっこ等）を使用し、鉢に飾るガーデンオーナメントを作成する。

◇目的

手指機能訓練 創作活動 達成感の獲得

⑨育成容易な野菜の栽培

◇内容

ジャガイモ（ポテトバッグ使用予定）やトウガラシ等、比較的育成が容易な野菜の栽培を行う。

◇目的

継続的な園芸活動 収穫体験 達成感の獲得 活動意欲向上

【3. 期待される効果】

身体面

上肢機能への刺激 巧緻動作練習 立位・座位耐久性向上 体幹活動促進

精神面

活動意欲向上 達成感獲得 リラクゼーション

認知面

季節感による見当識刺激 感覚刺激（視覚・触覚・嗅覚） 注意機能への刺激

社会面

患者様同士の交流促進 集団活動参加機会増加 役割意識の獲得

【4. 安全面への配慮】

夏季熱中症対策（日よけ設置・水分補給） 転倒リスクへの配慮 木材・工具使用時の安全確認
土や水による床面の汚染防止 患者様状態に応じた活動調整

→患者様個人での参加は原則禁止とし、リハスタッフ等、職員と一緒に参加していただくことでリスク管理する

【5. 今後の展望】

季節行事や病棟装飾と連携しながら、継続的な園芸活動を実施していく。

また、患者様主体で参加できる活動を増やし、役割獲得や活動意欲向上につなげていきたい。